

教師教修出願資格試験講習会
受講申込書

教師教修出願資格試験
受験願



「教師教修出願資格試験」「教師教修出願資格試験講習会」には、
この冊子を必ず持参してください

僧侶養成部
＜得度習礼・教師教修担当＞

＜2021年5月作成改訂版／2022年4月作成＞

教師規程(抜粋)

平成 31 年宗則第 2 号

(教師)

第2条 教師は、僧侶の本分をつくし、一般僧侶の範となり得る者に授与する。

2 教師は、仏祖に対し敬いの心が表れた確かな作法に基づく法要儀式を執行し、門信徒及び有縁の人々に伝わる布教伝道に努めるとともに、寺院の護持運営に協力しなければならない。

(授与申請)

第3条 教師の授与を申請しようとする者は、教師教修出願資格試験に合格し、所属する寺院の住職の承認を得、所定の書類及び冥加金を添えて、総局に願出なければならない。

2 教師の授与を申請するときは、総局が決定した教師教修実施予定日から教師教修の期日を選択して願出のものとする。

3 宗規第13条第2号から第5号までの規定のいずれかに該当する者、賦課金を滞納している者及び賦課金を滞納している寺院に所属している者は、教師の授与を申請することができない。この場合において、宗規第13条第4号中「軽戒」とあるのは「重戒」と読み替えるものとする。

第2章 講習会及び資格試験

第1節 教師教修出願資格試験講習会

(開催)

第4条 教師教修出願資格試験講習会(以下「講習会」という。)は、第2条の規定による教師についての自覚並びに教師教修の受講に必要な知識及び技能を修得させるため、開催するものとする。

2 講習会は、宗務所において、毎会計年度3回開催するのを原則とし、総局は、毎会計年度開始前までに、翌年度開催の日程案を告示するものとする。

3 総局は、学事規程(平成24年宗則第10号)第2条に規定する仏教学院、大学及び高等学校のうちから、講習会と同等の授業科目を行う認定校として宗達で指定することができる。

4 総局は、前項の規定により指定した認定校の講義内容について、3年ごとに定期的に点検を行い、それに基づき更新するものとする。

(受講資格)

第5条 20歳以上の僧侶は、総局に講習会の受講を願出することができる。但し、前条第3項の規定により指定された認定校に在学する者は、この限りでない。

(講習内容)

第6条 講習会は、次の各号に掲げる科目について、講習を行う。

- 一 真宗教義
- 二 真宗史
- 三 仏教教義
- 四 仏教史
- 五 宗教概説
- 六 宗門法規
- 七 勤式作法実演
- 八 法話実演

(修了証)

第7条 講習会を受講した者には、科目ごとに修了証を交付する。

- 2 修了証の有効期限は、交付の日から5年間とする。
- 3 第4条第3項の規定により指定された認定校を卒業した者は、講習会を修了した者とみなし、資格試験の受験を願出することができる。但し、受験願出の有効期限は、認定校のうち、高等学校を卒業した者は、卒業した日から7年間とし、それ以外の学校を卒業した者は、卒業した日から5年間とする。

第2節 教師教修出願資格試験

(実施)

第9条 教師教修出願資格試験(以下「資格試験」という。)は、第2条の規定による教師についての自覚並びに教師教修の受講に必要な知識及び技能を有するか否かについて審査するため、実施する。

- 2 資格試験は、宗務所において、毎会計年度3回開催するのを原則とし、総局は、毎会計年度開始前までに、翌年度開催の日程案を告示するものとする。
- 3 前項の規定にかかわらず、必要に応じて、学事規程第2条に規定する仏教学院及び大学のうちから総局が宗達で認定した学校において、資格試験を開催することができる。

(受験資格)

第10条 20歳以上の僧侶で、講習会の全科目を修了した者は、総局に資格試験の受験を願出することができる。但し、第3条第3項の規定に該当する者は、願出することが出来ない。

(試験)

第11条 資格試験は、筆記試験及び実演試験とし、必要に応じて、面接試験を加えることができる。

- 2 資格試験は、試験科目を数回に分けて受験することができるものとする。
- 3 資格試験は、教師資格審査会が行う。

(筆記試験)

第12条 筆記試験は、次の各号に掲げる科目について行う。

- 一 真宗教義
- 二 真宗史
- 三 仏教教義
- 四 仏教史
- 五 宗教概説
- 六 宗門法規

2 宗務員規程(平成24年宗則第25号)第26条の規定による事務員資格試験に合格している者は、願出により、前項第6号に規定する資格試験を免除することができる。

(実演試験)

第13条 実演試験は、次の各号に掲げる科目について行う。

- 一 勤式作法実演
- 二 法話実演

2 宗務員規程第26条の規定による法務員資格試験に合格している者は、願出により、前項第1号に規定する資格試験を免除することができる。

(評点)

第14条 資格試験の評点は、1科目100点を満点とし、各科目60点以上の者を合格とする。

(合格証)

第15条 資格試験の合格者には、資格試験合格証を、科目試験の合格者には、当該科目の科目合格証を交付する。

2 科目合格証の有効期限は、交付の日から5年間とし、資格試験合格証の有効期限は、交付の日から5年間とする。

(受験の停止)

第16条 不正の方法で資格試験を受験しようとした者又は資格試験に際しての規律に違反する者には、受験を停止することができる。

(不正による合格の取消)

第17条 総局は、不正の方法で資格試験に合格した者に対し、その合格を取消することができる。

2 総局は、合格を取消された者が既に教師を授与されているときは、その授与を取消さなければならない。

3 総局は、前条の規定により受験を停止された者及び第1項の規定により合格を取消された者に対し、5年以内の期間を定めて、再受験を禁止することができる。

4 第1項及び前項の決定は、あらかじめ教師資格審査会の議を経なければならない。

附 則

- 1 この宗則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 教師規程(昭和24年宗則第92号。以下「旧規程」という。)は、廃止する。
- 3 この宗則施行の際現に教師である者は、この宗則による教師とみなす。
- 4 この宗則施行の際現に廃止される旧規程第2条第2号の規定による教師検定試験合格者は、令和7年3月31日までの間、この宗則による教師教修出願資格試験に合格した者とみなす。
- 5 令和3年3月31日時点において、現に廃止される旧規程第2条第1号及び第3号の規定による仏教学院及び教師養成施設(以下「学校等」という。)に在学中の者は、次の各号に定める期間、教師教修出願資格試験に合格した者とみなす。但し、当該学校等が開設する教師の授与を申請するに必要な教科課程を修得したことについて、当該学校等が発行する証明書を必要とする。
 - 一 仏教学院及び大学に在学中の者は、卒業した日から4年間
 - 二 高等学校に在学中の者は、卒業した日から6年間
- 6 令和3年3月31日時点において、現に廃止される旧規程第2条第1号及び第3号の規定による学校等を卒業した者は、令和7年3月31日までの間、教師教修出願資格試験に合格した者とみなす。但し、当該学校等が開設する教師の授与を申請するに必要な教科課程を修得したことについて、当該学校等が発行する証明書を必要とする。

教師教修出願資格試験講習会案内

教師教修出願資格試験講習会受講申込書

目 次

1. 教師教修出願資格試験講習会について	
(1) 受講資格	1
(2) 日時	1
(3) 募集定員	1
(4) 提出書類	1
(5) 申込方法	2
(6) 受付	2
(7) 申込締切	2
(8) 受講料	2
(9) 注意事項	2
2. 講習概要	
(1) 講習会科目	3
(2) 開催期間・会場	3
(3) 装束	3
3. 持参品について	
(1) 書籍・経本	4
(2) 袈裟・法衣・法具	5
(3) 衣服等	5
(4) その他	5
4. 受講あたっての注意事項	
(1) 体調について	6
(2) 身だしなみについて	6
(3) その他	6
5. 受付・解散について	6
6. 教師教修出願資格試験講習会修了証について	7

記入上の注意①②

教師教修出願資格試験講習会受講申込書・履歴書（提出用）

1. 教師教修出願資格試験講習会（以下「講習会」）

について

(1) 受講資格

20歳以上の僧侶

但し、『教師養成施設認定条例』による教師養成施設に在学中の方で、当該校で実施される講習会と同等の授業科目を受講しようとする方は、この限りではありません。

(2) 日時

『宗報』もしくは「宗派ホームページ」にてご確認ください。

※「宗派ホームページ」<https://www.hongwanji.or.jp/>

QRコード



(3) 募集定員

- 各回40名とします。なお、5名に満たない場合は開催を中止することがありますので、あらかじめご了承ください。

(4) 提出書類

次の書類に必要事項を楷書で丁寧に記入し提出してください。

① 講習会受講申込書

- 巻中綴込の『講習会受講申込書』を切り取り、必要事項をすべて記入してください。
- 希望実施日は、第1希望・第2希望の両方を必ず記入してください。
- 「連絡先」は、後日関係書類を送付いたしますので、必ず連絡が取れる住所を記入してください。なお、現住所と同じ場合は、「同上」と記入してください。
- 写真は上半身・無帽・無背景・布袍・輪袈裟着用で、出願時より3ヶ月以内に正装にて撮影したものを、裏面に名前を記入して貼付してください。

② 講習会履歴書

- 巻中綴込の『講習会受講申込書』の裏面に必要事項をすべて記入してください。

③ 講習会科目修了証の写し

- 既に講習会の科目修了証をお持ちの方は必ず提出してください。
- 複数回に分けて講習会を受講されている方は一番新しく交付された科目修了証の写しをご提出ください。

(5) 申込方法

- 必要事項をすべて記入した「講習会受講申込書」「講習会履歴書」を、僧侶養成部<得度習礼・教師教修担当>へ提出してください。

(6) 受付

- 必要書類を完備した方から先着順に受け付け、受理通知を送付いたします。
- 受理通知送付後であっても、書類に不備が見つかった場合は受付を取り消し、書類を返戻いたします。

(7) 申込締切

- 講習会の開催40日前または定員に達し次第受付を締め切ります。

(8) 受講料

1科目につき、6,000円

- 専用の振込用紙を開催の約20日前に発送いたしますので、開催10日前までに振り込んでください。
- 連絡なく当日欠席された場合、受講料は返戻できません。

(9) 注意事項

- 書類不備、所属寺において住職代務及び兼務住職の場合その任期切れ、また無住職寺院となっている場合は、受講を受付することができません。
- 所属寺院が賦課金を滞納している場合、受講を受付することができません。
- 妊娠中の方、一時的な傷病の方（骨折や捻挫等を含む）、心身に不安をお持ちの方は事前に僧侶養成部にご連絡ください。

その他不明な点がございましたら、事前に僧侶養成部<得度習礼・教師教修担当>にご確認
ください。

2. 講習概要

(1) 講習会科目

①真宗教義	12時間
②真宗史	3時間
③仏教教義	9時間
④仏教史	3時間
⑤宗教概説	3時間
⑥宗門法規	6時間
⑦勤式作法実演	6時間
⑧法話実演	6時間

(2) 開催期間・会場

- 8科目の講義を約8日間で開催します。
- 会場は浄土真宗本願寺派宗務所又は聞法会館で行うことを基本といたします。

詳細につきましては、開催の約20日前に関係書類を発送いたしますのでご確認ください。

(3) 装束

- 勤式作法実演以外の科目を受講する方の装束は、略服第二種(洋服・布袍・輪袈裟)とします。
- 勤式作法実演を受講する方の装束は、略装第三種(白足袋、白衣、黒衣、輪袈裟・中啓・双輪念珠)とします。

3. 持参品について

講習会で使用する経本・書籍・法衣等は次の通りとなりますので、事前に確実に準備しておいてください。

※経本・書籍や法衣等持参品に不備があった場合、受講をお断りする場合がありますので、必ず不備がないように準備してください。

(1) 経本・書籍

科目	書籍	発行	本体価格	備考
全科目 (「宗門法規」除く)	浄土真宗聖典 (註釈版第2版)	本願寺出版社	5,200円	
	浄土真宗本願寺派 僧侶教本A	〃	2,400円	僧侶養成部・浄土真宗本願寺派総合研究所 編集
	浄土真宗本願寺派 僧侶教本B	〃	2,400円	僧侶養成部・浄土真宗本願寺派総合研究所 編集
真宗教義	浄土真宗聖典 七祖篇 (註釈版)	〃	5,715円	
宗門法規	浄土真宗本願寺派 宗門基本法規集	〃	1,000円	所務部<法制・訟務・契約事務担当> 編集 2017年4月1日発行以降のもの
勤式作法実演	浄土真宗本願寺派 勤式集(上・下)	〃	5,000円	勤式指導所 編集
	浄土真宗本願寺派 法式規範	〃	3,400円	勤式指導所 編集
	御傳鈔 唱讀用	永田 文昌堂	850円	勤式指導所 編集
	改譜 正信偈和讃 (小本和讃)	参拝教化部 免物担当	2,300円	※冥加金
法話実演	拝読 浄土真宗のみ教え(改訂版 布教読本)	本願寺出版社	1,200円	浄土真宗本願寺派総合研究所 編集

〈2021年4月現在〉

- ・上記書籍に関しては、本願寺出版社 (Tel075-371-4171〈直通〉) にて購入できます。
- ・「改譜 正信偈和讃 (小本和讃)」は参拝教化部【本山担当】 免物担当 (Tel075-371-5181〈本願寺代表〉) へお問い合わせください。

(2) 袈裟・法衣・法具

		備 考
1	墨輪袈裟	黒無地下藤白紋
2	黒衣・石帯	無地無紋
3	布 袍	無地無紋
4	中 啓	特に指定はありません
5	双輪念珠	白と黒の珠、白切房のもの
6	単輪念珠	特に指定はありません

(3) 衣服等

		備 考
1	白 衣	くるぶしまでの長さ(着丈)であること
2	白 襦 袢	女性は白地の <u>裾よけ</u> を着用すること
3	白 帯	マジックバンド・ひも付きのもの・サラシ製は <u>不可</u>
4	白 足 袋	コハゼのあるもの
5	そ の 他	下着類はすべて白色のもの(色物・柄物は不可) シャツはえり元から見えないもの

※法衣・衣服につきましては自身の体格にあったものをご用意ください。

※法衣は夏衣を6月1日から、冬衣を10月1日から用い、5月中は夏・冬いずれの衣を着用してもさしつかえありません。受講される期に合った衣をご用意ください。

(4) その他

- 筆記用具は必ずご持参ください。
- 宅配便での荷物の受け取り、発送は一切行っておりません。

4. 受講にあたっての注意事項

(1) 体調について

- 十分に体調を整えて受講してください。

(2) 身だしなみについて

- 会場へは必ず端正な服装でお越しください。
- 頭髪は、前髪が動かない（垂れない）ように、横は耳にかからないように、また、後髪はえり（輪袈裟）にかからないよう整髪して入所してください。整髪は、ヘアピン・ヘアゴム・ヘアネット（装飾されていない黒色のもの）を使用してください。
- 次の事項は禁止しております。
 - ・装飾品（指輪・ピアス・ネックレス等）
 - ・カチューシャ・ヘアクリップ・バレッタ等
 - ・パーマヘアー・ヘアカラー等（黒色除く）
 - ・ひげくちひげ（口髭）、あごひげ顎鬚、ほおひげ頬髯
 - ・カラーコンタクトレンズ、サークルレンズ

(3) その他

- 遅刻、または無届けで欠席した場合は、「講習会受講申込書」は無効になり、受講できません。
- 昼食は各自ご準備ください。

5. 受付・解散について

① 受付

- ・時 間：各科目講義開始15分前を予定
- ・場 所：浄土真宗本願寺派宗務所又は聞法会館

② 解 散

- ・時 間：講習会終了次第（随時解散）
- ・場 所：浄土真宗本願寺派宗務所又は聞法会館

詳細につきましては、開催の約20日前に関係書類を発送いたしますのでご確認ください。

6. 教師教修出願資格試験講習会修了証について

- 講習会を受講し修了した方には、科目ごとに「講習会修了証（以下「修了証」という。）」を交付いたします。
- 「修了証」の有効期限は、交付日より5年間とし、その期間内に全科目修了し、教師教修出願資格試験に合格しなければ、再度、講習会を受講していただきます。
- 「修了証」は教師教修出願資格試験の願記を提出する際にも必要となりますので大切に保管してください。（再交付には手数料15,000円がかかります。）

記入上の注意 ①

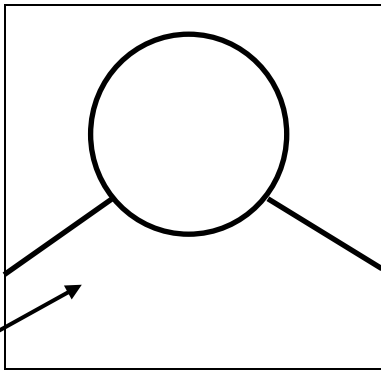
教師教修出願資格試験講習会受講申込書

総局 御中

今般、「教師教修出願資格試験講習会」について下記科目の受講を申し込みいたします

必ず第2希望
まで記入して
ください

写真の裏面に名前を記入し、
枠内に貼り付けてください



【受講希望日】

※定員に達した場合は第2希望にて受付いたします。

第1希望	● 期	202●年 ●月 ●日 ~ ●日
第2希望	● 期	202●年 ●月 ●日 ~ ●日

~~真宗教義~~

真宗史

記

~~仏教教義~~

仏教史

宗教概説

宗門法規

~~勤式作法実演~~

法話実演

必ず日付を記入
してください

(受講科目は○で囲み、不要科目は必ず二重線で消してください)

年 月 日 ※必ず記入してください

教区 組 寺坊名前 印

上記同意します。

それぞれどちらか該当する
方に○印を記入してくださ

年 月 日

所属寺住職/
住職代務が
記入・押印

寺坊 住職 住職代務 名前 印

(どちらかを削除してください)

僧侶養成部<得度習礼・教師教修担当>へご提出ください

※裏面も必ずご記入ください

僧侶養成部収状印	受理通知

記入上の注意 ②

履 歴 書

寺院番号					
所属寺	教区		組		寺/坊
ふりがな			ふりがな		
名 前	(姓)	(名)	法 名	釋	
生年月日	年	月	日	歳	性別
得度年月日	年	月	日	得度	
ふりがな					
現住所	〒□□□□-□□□□				
	電話 ()-()-() ファックス()-()-()				
	メールアドレス				
ふりがな					
連絡先 関係書類送先	〒□□□□-□□□□				
	電話 ()-()-() ファックス()-()-()				
学 歴					
職 歴					
備 考					
受講回数	回目 (前回は 年 月に受講)				

必ず連絡がとれる住所を記入してください

現住所と同じ場合は「同上」と記入してください

必要事項をすべて楷書でわかりやすく記入してください(本人記入)

※本人自筆のこと

- ◎ 教修教修出願資格試験を受けようとする期日が決まっている場合(予定)はお書きください。

年 月 日

※「仮受付」ではありません。

予定が決まっている場合は
ご記入ください

- ◎ 教師教修を受けようとする期日が決まっている場合(予定)はお書きください。

年 月

※「仮受付」ではありません。

教師教修出願資格試験講習会受講申込書

総局御中

今般、「教師教修出願資格試験講習会」について下記科目の受講を申し込みいたします

写真貼付

(縦5cm×横5cm)
上半身・無帽・無背景
布袍・輪袈裟着用
(白黒・カラー不問)

【受講希望日】

※定員に達した場合は第2希望にて受付いたします。

第1希望	期	年	月	日	～	日
第2希望	期	年	月	日	～	日

記

真宗教義 ・ 真宗史 ・ 仏教教義 ・ 仏教史

宗教概説 ・ 宗門法規 ・ 勤式作法実演 ・ 法話実演

(受講科目は○で囲み、不要科目は必ず二重線で消してください)

年 月 日 ※必ず記入してください

_____教区_____組_____寺・坊名前_____ (印)

上記同意します。

年 月 日

_____寺・坊住職・住職代務名前_____ (印)

(どちらかを削除してください)

僧侶養成部収状印	受理通知

僧侶養成部<得度習礼・教師教修担当>へご提出ください

※裏面も必ずご記入ください

履 歴 書

寺院番号					
所 属 寺	教 区		組		寺/坊
ふりがな			ふりがな		
名 前	(姓)	(名)	法 名	釋	
生年月日	年	月	日	歳	性 別
得度年月日	年	月	日	得 度	
ふりがな					
現 住 所	〒□□□□-□□□□□				
	電話 ()-()-() ファックス()-()-()				
	メールアドレス				
ふりがな					
連 絡 先 <small>関係書類発送先</small>	〒□□□□-□□□□□				
	電話 ()-()-() ファックス()-()-()				
学 歴					
職 歴					
備 考					
受講回数	回目 (前回は 年 月に受講)				

※本人自筆のこと

- ◎ 教修教修出願資格試験を受けようとする期日が決まっている場合(予定)はお書きください。

年 月 日

※「仮受付」ではありません。

- ◎ 教師教修を受けようとする期日が決まっている場合(予定)はお書きください。

年 月

※「仮受付」ではありません。

教師教修出願資格試験案内

教師教修出願資格試験受験願

目 次

1. 教師教修出願資格試験について	
(1) 出願資格	1
(2) 日時	2
(3) 募集定員	2
(4) 提出書類	2
(5) 申込方法	4
(6) 受付	4
(7) 申込締切	4
(8) 試験冥加	4
(9) 注意事項	4
2. 試験科目	
(1) 筆記試験	5
(2) 実演試験	5
(3) 面接試験	5
3. 試験概要	
(1) 筆記試験	6
(2) 実演試験	6
(3) 開催期間・会場	6
4. 合否判定について	6
5. 持参品について	
(1) 書籍・経本	7
(2) 袈裟・法衣・法具	7
(3) 衣服等	7
(4) 受験許可証	8
(5) その他	8
6. 受験にあたっての注意事項	
(1) 体調について	8
(2) 身だしなみについて	8
(3) その他	8
7. 受付・解散について	9

記入上の注意①②

教師教修出願資格試験受験願・宣誓書・履歴書（提出用）

1. 教師教修出願資格試験（以下「資格試験」）について

(1) 出願資格

20歳以上の僧侶で、講習会の全科目を修了した方

但し、宗規第13条第2号から第5号までの規定のいずれかに該当する者、賦課金を滞納している者及び賦課金を滞納している寺院に所属している方は、出願することができません。この場合において、宗規第13条第4号中「軽戒」とあるのは「重戒」と読み替えます。（教師規程第3条第3項）

【浄土真宗本願寺派 宗規】第13条第2号から第5号

- 二 心身の故障によりその職務を行うに当って必要となる認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- 三 破産者で復権を得ていない者
- 四 軽戒以上の懲戒処分を受け、その決行を終るまで、又は決行を受けることがなくなるまでの者
- 五 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで、又は執行を受けることがなくなるまでの者

《制度移行に伴う経過措置》

① 2021（令和3）年3月31日までに旧規程による「教師検定試験」を受験し、合格した方は2025（令和7）年3月31日までの間は、資格試験に合格したものとみなします。その間は新しく実施する資格試験を受験する必要はありません。

但し、教師の授与を申請する際は、「教師検定試験合格証」を添付してください。

② 2021（令和3）年3月31日時点において、旧規程による仏教学院及び教師養成施設に在学中の方は、次に定める期間、資格試験に合格したとみなします。

- 仏教学院及び大学に在学中の方は、卒業した日から4年間
- 高等学校に在学中の方は、卒業した日から6年間

この間は新しく実施する資格試験を受験する必要はありません。

但し、教師の授与を申請する際は、「当該学校等が発行する証明書」を添付してください。

③ 2021（令和3）年3月31日時点において、旧規程による仏教学院及び教師養成施設を卒業した方は、2025（令和7）年3月31日までの間、資格試験に合格したとみなします。それまでは新しく実施する

資格試験を受験する必要はありません。

但し、教師の授与を申請する際は、「当該学校等が発行する証明書」を添付してください。

(2) 日時

『宗報』もしくは「宗派ホームページ」にてご確認ください。

※「宗派ホームページ」 <https://www.hongwanji.or.jp/>

QRコード



(3) 募集定員

- 各回40名とします。なお、5名に満たない場合は開催を中止することがありますので、あらかじめご了承ください。

(4) 提出書類

次の書類に必要な事項を楷書で丁寧に記入し提出してください。

① 資格試験 受験願

- 巻中綴込の『資格試験 受験願』を切り取り、必要事項をすべて記入してください。
- 「連絡先」は、後日受験許可証を送付いたしますので、必ず連絡が取れる住所を記入してください。なお、現住所と同じ場合は、「同上」と記入してください。
- 写真は上半身・無帽・無背景・布袍・輪袈裟着用で、出願時より3ヶ月以内に正装にて撮影したものを、裏面に名前を記入して貼付してください。

② 宣誓書

- 巻中綴込の『資格試験 受験願』の裏面の内容をよく確認し、本人が署名・押印してください。
- 年月日は必ず記入してください。

③ 資格試験履歴書

- 必要事項をすべて記入してください。

④ 資格試験講習会修了証（8科目完備したもの）の写し

- 講習会の開催に併せて実施される試験の受験を願出する場合は、出願時においては講習会未修了であり修了証の添付ができないため、提

出の必要はありません。

- 出願資格は資格試験講習会の全科目（8科目）を修了した者であるため、1頁に記載の制度移行に伴う経過措置に該当する下記の方は、「教師検定試験科目合格証の写し」及び「当該学校等が発行する証明書の写し」を添付し、提出してください。

◎2021(令和3)年3月31日までに旧規程による

「教師検定試験」科目合格者

提出書類：教師検定試験科目合格証の写し

◎2021(令和3)年3月31日時点において、旧規程による教師養成施設(高等学校・大学)に在学中又は卒業した方で、当該学校等が開設する教師の授与を申請するに必要な教科課程を部分的に取得した方

提出書類：当該学校等が発行する証明書の写し

※教師の授与を申請するに必要な教科課程を全て修得した方は、経過措置期間中、教師教修出願資格試験を受験する必要はありません。

また、資格試験講習会と試験の受験を併せて願出の方で、既に修了された講習会科目がある方の提出書類は、出願資格である「講習会の全科目を修了した者」であることを確認するため、「講習会科目修了証の写し」を添付し、提出してください。

◎資格試験講習会と試験の受験を併せて願出の方で、既に修了された講習会科目がある方

提出書類：講習会科目修了証の写し

添付がない場合や、講習会の全科目を修了していることが確認できない方の受験願は、受付できない場合があります。

- 教師養成施設において教師講習会と同等の授業科目を履修中の方で資格試験の受験を希望される場合は当該養成施設から発行される「修得見込証明証」を提出してください。この場合、資格試験初日までに修得したことを証明する証明証を必ず提出してください。

- ⑤ 事務員資格試験に合格している方は、「事務員資格試験合格証」の写し
 - 事務員資格試験に合格している方のみ対象となります。
- ⑥ 法務員資格試験に合格している方は、「法務員資格試験合格証」の写し
 - 法務員資格試験に合格している方のみ対象となります。

(5) 申込方法

- 必要事項をすべて記入した「資格試験 受験願」「宣誓書」「資格試験履歴書」を所属寺住職・組長を通じて所属教区の教務所へ提出してください。
- 教師教修出願資格試験を講習会に引き続き受験しない場合、2回目以降出願する場合は必ず「講習会修了証」(8科目完備したもの)の写しを「資格試験 受験願」に添付し、出願してください。

(6) 受付

- 必要書類を完備した方から先着順に受け付け、受理通知を送付いたします。
- 受理通知送付後であっても、書類に不備が見つかった場合は受付を取り消し、書類を返戻いたします。

(7) 申込締切

- 教師教修出願資格試験の開催40日前または定員に達し次第受付を締め切ります。

(8) 試験冥加

1科目につき、6,000円

- 所属教区の教務所に願記を提出する際に納入してください。
- 納入される際「教区手数料」の納入が別途必要ですので、所属教区の教務所へお尋ねください。

(9) 注意事項

- 書類不備、所属寺において住職代務及び兼務住職の場合その任期切れ、また無住職寺院となっている場合は、受験を許可することができません。
- 所属寺院が賦課金を滞納している場合、受験を許可することができません。
- 妊娠中の方、一時的な傷病の方(骨折や捻挫等を含む)、心身に不安をお持ちの方は事前に僧侶養成部にご連絡ください。

その他不明な点がございましたら、事前に僧侶養成部<得度習礼・教師教修担当>にご確認
ください。

2. 試験科目

(1) 筆記試験

- ①真宗教義
- ②真宗史
- ③仏教教義
- ④仏教史
- ⑤宗教概説
- ⑥宗門法規

(2) 実演試験

- ①勤式作法実演
- ②法話実演

(3) 面接試験

必要に応じて実施します。

※宗務員規程（平成24年宗則第25号）第26条の規定による事務員資格試験に合格している方は、願出により、「宗門法規」を免除することができます。

※宗務員規程第26条の規定による法務員資格試験に合格している方は、願出により、「勤式作法実演」を免除することができます。

※科目を数回に分けて受験することができます。

3. 試験概要

(1) 筆記試験

- 各科目30分～50分で実施します。
 1. 真宗教義 50分
 2. 真宗史 30分
 3. 仏教教義 50分
 4. 仏教史 30分
 5. 宗教概説 30分
 6. 宗門法規 50分
- 装束は略服第二種（洋服・布袍・輪袈裟）とします。

(2) 実演試験

- 勤式作法実演
 - ・装束は略装第三種（白衣、黒衣、輪袈裟、中啓、双輪念珠）とします。
 - ・一人ずつ、評価者が出題する内容について実演していただきます。
- 法話実演
 - ・装束は略装第三種（白衣、黒衣、輪袈裟、中啓、双輪念珠）とします。
 - ・1人ずつ5分間の法話実演を行っていただきます。

(3) 開催期間・会場

- 8科目を2日に分けて実施します。
- 会場は浄土真宗本願寺派宗務所又は聞法会館で行うことを基本といたします。
- 教師養成施設で行う場合は宗報をご確認ください。

詳細につきましては、開催の約20日前に関係書類を発送いたしますのでご確認ください。

4. 合否判定について

- 試験終了後、教師資格審査会を開催し合否判定を行います。
- 1科目100点を満点とし、各科目60点以上の方を合格とします。
- 合否判定の結果は後日「履歴書」の「連絡先（関係書類発送先）」宛にお送りいたします。「連絡先」には必ず連絡がとれる住所を記入してください。

5. 持参品について

資格試験で使用する経本・書籍・法衣等は次の通りとなりますので、事前に確実に準備しておいてください。

※指定の経本以外での受験は一切認めておりません。経本や法衣等持参品に不備があった場合、受験をお断りする場合がありますので、必ず不備がないように準備してください。

(1) 経本・書籍

	書 籍	発 行	本体価格	備 考
1	浄土真宗本願寺派 勤式集(上・下)	本願寺 出版社	5,000円	勤式指導所 編集
2	改譜 正信偈和讃 (小本和讃)	参拝教化部 免物担当	2,300円	

〈2021年4月現在〉

- ・上記書籍に関しては、本願寺出版社 (Tel075-371-4171 〈直通〉) もしくは参拝教化部【本山担当】免物担当 (Tel075-371-5181 〈本願寺代表〉) へお問い合わせください。

(2) 袈裟・法衣・法具

		備 考
1	墨 輪 袈 裟	黒無地下藤白紋
2	黒衣・石帯	無地無紋
3	布 袍	無地無紋
4	中 啓	特に指定はありません
5	双 輪 念 珠	白と黒の珠、白切房のもの
6	単 輪 念 珠	特に指定はありません

(3) 衣服等

		備 考
1	白 衣	くるぶしまでの長さ(着丈)であること
2	白 襦 袢	女性は白地の <u>裾よけ</u> を着用すること

3	白 帯	マジックバンド・ひも付きのもの・サラン製は <u>不可</u>
4	白 足 袋	コハゼのあるもの
5	雪 駄	白鼻緒
6	下 着	下着類はすべて白色のもの（ <u>色物・柄物は不可</u> ） シャツはえり元から見えないもの

※法衣・衣服につきましては自身の体格にあったものをご用意ください。

※法衣は夏衣を6月1日から、冬衣を10月1日から用い、5月中は夏・冬いずれの衣を着用してもさしつかえありません。受験される期に合った衣をご用意ください。

(4) 受験許可証

- 願記受付締切後、諸手続きのうえ、不備がなければ、試験日の約20日前に「履歴書」の「連絡先（関係書類発送先）」宛に受験許可証をお送りいたします。
- 試験当日には必ず受験許可証をお持ちください。

(5) その他

- 筆記用具は必ずご持参ください。
- 宅配便での荷物の受け取り、発送は一切行っておりません。

6. 受験にあたっての注意事項

(1) 体調について

- 十分に体調を整えて受験してください。

(2) 身だしなみについて

- 会場へは必ず端正な服装でお越しください。
- 頭髪は、前髪が動かない(たれない)ように、横は耳にかからないように、また、後髪はえり(輪袈裟)にかからないよう整髪してください。整髪は、ヘアピン・ヘアゴム・ヘアネット(装飾されていない黒色のもの)を使用してください。

(3) その他

- 遅刻、または無届けで欠席した場合は、「資格試験 受験願」は無効になり、受験できません。
- 昼食は各自ご準備ください。

7. 受付・解散について

①受付

- ・時 間：午前8時30分より午前9時までを予定
- ・場 所：浄土真宗本願寺派宗務所又は聞法会館

②解 散

- ・時 間：試験終了次第（随時解散）
- ・場 所：浄土真宗本願寺派宗務所又は聞法会館

詳細につきましては、開催の約20日前に関係書類を発送いたしますのでご確認ください。

記入上の注意 ①

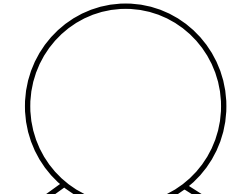

教師教修 出願資格試験受験願

総局 御中

教務所収状印	僧侶養成部収状印

希望する会場
(宗務所又は教師養成施設)
を記入してください。

このたび、「教師教修出願資格試験」について下記科目を受験いたしたく存じますので、
関係書類を添えて出願します

組長印		所長印
		

【受験希望日】

※定員に達した場合は第2希望にて受付いたします。

第1希望	会場：	20●●年●月●日～●日
第2希望	会場：	20●●年●月●日～●日

必ず第2希望
まで記入して
ください

記

真宗教義 ・ 真宗史 ・ 仏教教義 ・ 仏教史

宗教概説 ・ 宗門法規 ・ ~~勤式作法実演~~ ・ 法話実演

(受験科目は○で囲み、不要科目は必ず二重線で消してください)

必ず日付を記入
してください

年 月 日 ※必ず記入してください

____ 教区 ____ 組 ____ 寺坊 名前 _____ (印)

上記承認します。

年 月 日

____ 寺 住職 住職代務 名前 _____ (印)

(どちらかを削除してください)

上記差支えありませんから奥印します。

年 月 日

____ 組 組長 名前 _____ (印)

上記進達します。

年 月 日

____ 教区 教務所長 名前 _____ (印)

それぞれどちらか該当する
方に○印を記入してくださ

記入上の注意 ②

履 歴 書

寺院番号					
所属寺	教区		組		寺/坊
ふりがな			ふりがな		
名 前	(姓)	(名)	法 名	釋	
生年月日	年	月	日	歳	性別
得度年月日	年	月	日	得度	
ふりがな					
現住所	〒□□□-□□□□				
	電話 ()-()-() ファックス()-()-()				
	メールアドレス				
ふりがな					
連絡先 関係書類発送先	〒□□□-□□□□				
	現住所と同じ場合は「同上」と記入してください 電話 ()-()-() ファックス()-()-()				
学 歴					
職 歴					
備 考					
受験回数	回目 (前回は 年 月に受験)				
講習会 受講(予定)日	開催会場： _____ 開催期日： _____年 _____月 _____日 ~ _____月 _____日				
教師教修 希望期	_____年 _____月教師教修 ・ 未 定				

必ず連絡がとれる住所を記入してください

必要事項をすべて楷書でわかりやすく記入してください(本人記入)

※本人自筆のこと

教師教修 出願資格試験受験願

総 局 御 中

教務所収状印	僧侶養成部収状印

このたび、「教師教修出願資格試験」について下記科目を受験いたしたく存じますので、関係書類を添えて出願します

組長印	縦 5 cm × 横 5 cm 最近 3 ヶ月以内の撮影	所長印
本人印	上半身 無帽 無背景 <u>布袍・輪袈裟</u> 着用 (白黒・カラー不問)	

【受験希望日】

※定員に達した場合は第2希望にて受付いたします。

第1希望	会場：	年 月 日 ~ 日
第2希望	会場：	年 月 日 ~ 日

記

真宗教義 ・ 真宗史 ・ 仏教教義 ・ 仏教史

宗教概説 ・ 宗門法規 ・ 勤式作法実演 ・ 法話実演

(受験科目は○で囲み、不要科目は必ず二重線で消してください)

年 月 日 ※必ず記入してください

_____教区 _____組 _____寺・坊 名 前 _____ (印)

上記承認します。

年 月 日

_____寺 住 職・住職代務 名 前 _____ (印)

(どちらかを削除してください)

上記差支えありませんから奥印します。

年 月 日

_____組 組 長 名 前 _____ (印)

上記進達します。

年 月 日

_____教区 教務所長 名 前 _____ (印)

宣 誓 書

私は、下記に掲げる事項の何れにも該当しないことを宣誓します。

一、心身の故障によりその職務を行うに当って必要となる認知、判断及び意思疎通を適切に行う
ことができない者

一、破産者で復権を得ていない者

一、重戒以上の懲戒処分を受け、その決行を終るまで、又は決行を受けることがなくなるまでの者

一、禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで、又は執行を受けることがなくなるまでの者

一、他の宗派又は浄土真宗本願寺派に包括されない寺院その他の宗教団体に所属している者

年 月 日

必ず記入してください

本人 _____ (印)

履 歴 書

寺院番号					
所属寺	教区		組		寺/坊
ふりがな			ふりがな		
名 前	(姓)	(名)	法 名	釋	
生年月日	年 月 日 歳			性 別	
得度年月日	年 月 日 得度				
ふりがな					
現住所	〒□□□□-□□□□□				
	電話 ()-()-() ファックス()-()-()				
	メールアドレス				
ふりがな					
連絡先 <small>関係書類発送先</small>	〒□□□□-□□□□□				
	電話 ()-()-() ファックス()-()-()				
学 歴					
職 歴					
備 考					
受験回数	回目 (前回は 年 月に受験)				
講習会 受講(予定)日	開催会場： _____ 開催期日： _____年 _____月_____日 ~ _____月_____日				
教師教修 希望期	_____年 _____月教師教修 ・ 未 定				

※本人自筆のこと

<問い合わせ先>

僧侶養成部<得度習礼・教師教修担当>

〒600-8501

京都市下京区堀川通花屋町下ル本願寺門前町

浄土真宗本願寺派宗務所

TEL 075-371-5181 (代) FAX 075-351-1372

教 区	組	寺・坊	名 前